

第34回（平成27年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校低学年の部＞応募総数：35

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	下ノ加江小学校	1年	清水 大樹	かめをかいたいな
優 秀	下川口小学校	1年	井本 成海	どうぶつさあかすはじまるよをよんで
	足摺岬小学校	2年	平尾 大空	「つのはさみ・かぶとむしとくわがたむし」を読んで
入 選	下ノ加江小学校	1年	川渕 絵里香	「ともだちみつけた」をよんで
	清水小学校	2年	原 彩奈	『かあさんのしっぽっぽ』を読んで
	三崎小学校	2年	早川 愛莉	クレヨンからのおねがいを読んで
	中浜小学校	2年	田村 悠乃	ぎょうれつのできるすうぷやさん
	下川口小学校	2年	遠近 諒	かなしいおはなし えんぴつびな

【審査評】

- ・行事が多くじっくり本を読み、感想文を書く時間確保できにくいためか、出品数が少なく残念だった。
- ・あらすじが中心となり自分の思いや考え、経験などが十分に書ききれていない作品が多かった。
- ・自分の興味のある本に出あえた時には、自分の体験などを通して豊かな表現ができており、本の選択が感想文の書きぶりにつながっていた。

第34回（平成27年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校中学年の部＞応募総数：82

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	足摺岬小学校	4年	戒井 裕人	「ごんぎつね」を読んで
優 秀	中 浜 小 学 校	3年	東谷 由亜	「天国犬への手紙」を読んで
	足摺岬小学校	4年	切詰 小蒔	「ちいちゃんのかげおくり」を読んで
入 選	下川口小学校	3年	森 みなみ	お話きかせてクリストフ
	幡 陽 小 学 校	3年	寺岡 知優	「回転すしのヒミツ」を読んで
	清 水 小 学 校	4年	松浦 悠奈	「ココロ屋に行ってみたい」
	下ノ加江小学校	4年	早川 竜世	山手町たんていクラブ消えた空きすはんを追い読んで
	下川口小学校	4年	岡田 昂大	ぼくはうちゅうじん

【審査評】

- ・誤字、脱字等があり、最終チェックをきちんとして作品として仕上げ提出できるといいですね。
- ・主題に迫ることができている児童や、自分の思いをしっかりと書けている児童もいる。
- ・低学年向きの本を選んで書いている作品があった。選ぶ際の指導、支援が必要である。
- ・忙しい中ではあったが、取り組んでくれた学校数が多かった。

第34回（平成27年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校高学年の部＞応募総数：126

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	下川口小学校	6年	岡田 彩央	自分色
優 秀	足摺岬小学校	5年	松下 瀧斗	「超古代文明とオーパーツのなぞ」を読んで
	清水小学校	6年	敷地 彩里	やればできる
入 選	中浜小学校	5年	藤原 奈々	希望への扉 リロダ
	足摺岬小学校	5年	鳥谷 采世	「こころのふしぎなぜどうして？」を読んで
	三崎小学校	5年	弘瀬 舞	「名犬チロリ」を読んで
	下ノ加江小学校	6年	木村 実音	「こども電車を読んで」
	幡陽小学校	6年	佐藤 凜	「犬と私の十の約束」を読んで

【審査評】

- ・授業の中で学んだことが並行読書から広がり、学んだことが活かされている作品がたくさんありました。知りたい、わかりたいという気持ちから読んでいる人は、本の中で新鮮な驚きや発見があり、読書を楽しんでいるな、と感じる作品も多かったです。また、読書を通して、感じたり、考えたりしたことで、自分を変えようとしていることが感じられる作品もありました。読書を通して考えることが、とても大切だと思います。
- ・高学年の課題としては、作品の語っていることを的確に捉えることが大切だと思います。また、短すぎると訴える内容も弱くなるので、頑張って書き切ってもらいたいです。表記では、一文一段落の作品があったので、段落を考えて書きましょう。

第34回（平成27年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜中学校の部＞応募総数：52

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	清水中学校	1年	中久保 純	どんなときでも自分を貫き通す
優 秀	清水中学校	2年	新谷 愛美	後世に生きる人達の為に
	清水中学校	2年	森下 天晴	「未来のきみが待つ場所へ」
入 選	清水中学校	2年	井ノ上 さくら	「生」か「死」か
	清水中学校	2年	浦本 愛	ディズニー大学
	清水中学校	2年	秋元 萌香	「誰にだってある命」
	清水中学校	3年	山下 怜花	この本から学ぶこと
	清水中学校	3年	山本 理子	ポジティブに行こう

【審査評】

- ・読書から学んだことを、生活の中に生かそうとする気持ちや、感じたことを自分なりに考え直している姿が伝わってきました。また、ほとんどの作品が丁寧な字で書かれており、美しく見やすい原稿は好感が持てました。
- ・読み手にわかりやすく書くということは、文章の内容(構成や表現)と併せて、見た目も(原稿用紙に文字を正しく整えて書く)大切だと感じさせる作品でした。コンピュータで文章を読んだり、文字を打ったりする機会が多い昨今ですが、絵の本を読むことや手書きすることは、これからも大切にしてほしいと思います。
- ・年齢的にも社会の出来事に関心を持つ時期ではありますが、ややテーマに偏りが見られるように思います。さらに、読書を続け広い視野で作品を深めていけるようになることを期待します。
- ・読書することは、自分以外の広い世界へつながる窓であり、自分の心の中につながる窓でもあります。本の中にはいろいろな人やいろいろな状況が出てきます。追い詰められた人間はどんな行動をとるのか、悲しいとはどういうことかなど、自分は経験しないかもしれない体験が描かれた本でも、その中にある真意は伝わります。それをつかみ取って、深く内省の時間を持つことは、皆さんをより豊かな人間へと導いてくれます。
- ・これからも、自分の好きな本を読みつつ、読書好きの身近な大人が紹介してくれたり、教科書や新聞の読書案内にあげられたりする本にふれながら、どうぞ読書の幅も広げていって下さい。

第34回（平成27年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

<高等学校の部>応募総数：68

	学校名	学年	氏名	題名
優 秀	清水高等学校	1年	畑山 菜の子	「きみはいい子」を読んで
入 選	清水高等学校	1年	上田 玲奈	「山本五十六 戦後七十年の真実を読んで」
	清水高等学校	1年	山崎 愛華	「そして、涙は海になる」を読んで
	清水高等学校	2年	早川 由花	ジョン万次郎 海を渡ったサムライ魂
	清水高等学校	2年	小川 菜穂	「蜘蛛の糸」を読んで

【審査評】

それぞれの作品において、作品内容・登場人物の心情などについて自身の考えを当てはめながら読み取っている。
また自身の思いを述べる際も、主体的に作品と向き合う姿勢がみられる。
作品を通じて自身の視野や価値観を広げ、豊かな読書体験ができたと感じる。